

2026 年 9 月 8 日
日本空港ビルディング株式会社

衣類専用自動圧縮サービス「Pocket Tips」 羽田空港と各空港への本格導入に向けた共同開発を開始 ～成田・熊本・那覇空港と連携～



日本空港ビルディング株式会社と株式会社 SJORY は、同社が開発する衣類専用自動圧縮サービス「Pocket Tips（ポケットチップス）」の来年以降の空港への本格導入に向け、研究開発拠点「terminal.0 HANEDA（ターミナルゼロ ハネダ、以下「t.0」）」における実証実験の成果を踏まえ、共同開発を開始します。

「Pocket Tips」は、旅行や出張時にかさばる衣類を自動で圧縮し、手荷物の省スペース化を可能にするサービスです。2026 年 1 月に羽田空港で実施した実証実験では、多くの利用者から利便性に関する評価を受け、空港内サービスにおける有効性を確認したことに加え、サービス改善に向けた意見が寄せられました。

今回の共同開発では、羽田空港での実証実験で得られた課題の改善と、羽田空港をはじめとした各空港への本格導入を目指し、t.0 参画企業である熊本、那覇空港に加え、首都圏空港である成田空港における利用特性や利用者ニーズを踏まえたサービス設計を進め、更なるサービス向上に向けた検証を行います。

日本空港ビルディングと SJORY は、各空港との連携を通じて、「Pocket Tips」の価値向上を図るとともに、空港利用者の快適な移動体験の創出に貢献してまいります。

■背景

これまで4空港で実施した実証実験では、アンケート回答者約400名のうち約7割が「荷物の収納スペース不足を理由にお土産の追加購入を断念した経験がある」と回答し、旅行中の荷物や収納スペースに対する課題が明らかになりました。

また、2026年4月1日より、スムーズな搭乗手続きおよび定時運航の実現を目的とした機内持ち込み手荷物に関する新たなガイドラインが公表され、持ち込み手荷物に関するルールへの対応も求められています。

■衣類専用自動圧縮サービス「Pocket Tips」とは

洋服などの衣類を「衣類専用自動圧縮機」に入れるだけで、約1分で“手のひらサイズ*”に圧縮できるのが特徴です。衣類そのものを自動で圧縮するため、不要なゴミを出すことなく誰でも簡単に利用できます。衣類の省スペース化により、スーツケース内に新たな収納スペースを生み出し、旅行者の荷物に関する負担軽減を図ります。

※衣類の大きさによりますが、最大1/7サイズまで圧縮可能



■今後の展望

空港利用者にとってより使いやすく、利便性の高いサービスとして展開できるよう、各空港会社から得られた知見や意見も活かしながら、検討・改良を進め、羽田空港をはじめとした各空港への本格導入を目指してまいります。

また、将来的には、宿泊施設やアパレル分野など、空港以外の利用シーンへの展開も視野に入れ、本サービスのさらなる活用の可能性を広げてまいります。

■「terminal.0 HANEDA」とは

「terminal.0 HANEDA(ターミナルゼロ ハネダ)」は、羽田空港旅客ターミナルの建設、管理・運営を行う日本空港ビルディング株式会社が開設した、空港を主要テーマとした研究開発拠点です。現在は、36社2団体2大学の参画企業とともに、空港課題の解決に向けて異業種連携で研究開発を行っています。施設運営および共創活動支援には、株式会社 point0 が携わっています。

「terminal.0 HANEDA」 公式 WEB サイト：<https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/terminal0/>

* 随時参画企業を募集しております。お気軽にお問い合わせください。

本件に関するお問い合わせ：

日本空港ビルディング株式会社 事業開発課 TEL:03-5757-8098 9:00-17:30（土日祝除く）